

抗 p53 acetyl-K120 (ヒト) 抗体、マウスモノクローナル(10E5)

商品コード	71-131
容量	100 µg
保存	-20℃
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から proteinA で精製した
抗原	ヒト p53 acetyl-Lys120 を含む合成ペプチド
アイソタイプ	マウス IgG1 κ
反応性	ヒト p53 acetyl K120
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (1/1,000, 図 1) 2. 免疫沈降 (図 2) 3. 免疫蛍光染色 (1/100-1/1,000, 図 3) 4. Flow-Cytometry (1/100) 5. ELISA
背景	p53 タンパク質は癌抑制遺伝子 <i>p53</i> の産物である。<i>p53</i> の変異はヒト癌の半数以上で検出される最も重要な癌関連遺伝子である。p53 は 53 kD の位置に電気泳動で検出され、393 のアミノ酸からなる。p53 は細胞にストレスのない状態では量も少なく不活性な状態にあるが、種々のストレス特に DNA 損傷等により活性化され、細胞周期の停止、DNA 損傷の修復、アポトーシスの誘導などに関与する。p53 の活性はセリンやスレオニンのリン酸化やリジンのアセチル化等の翻訳後の修飾によって制御されている。 p53 の Lys120 部位のアセチル化は DNA 損傷等に応答して、MYST family acetyltransferase に属する hMOF や Tip60 によってなされ、アポトーシスを誘導する遺伝子である <i>BAX</i> や <i>PUMA</i> の転写を誘導する。
Data Link	UniProtKB P04637 (P53_HUMAN)
文献	1.Rokudai S et al. MOZ increases p53 acetylation and premature senescence through its complex formation with PML.Proc Natl Acad Sci U S A. 2013 Mar 5;110(10):3895-900. PMID: 23431171. WB (human)
関連商品	#71-113 anti-p53 (p-S20) #71-115 anti-p53 (p-S46) #71-117 anti-p53 (p-S315) #71-133 anti-p53 (Ac-K382)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 71-131 抗 p53 acetyl-K120 抗体、マウスモノクローナル (10E5)

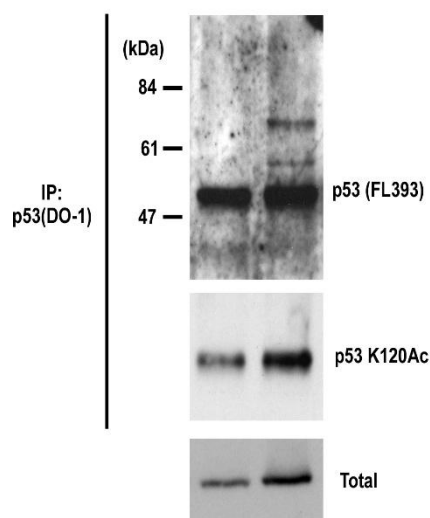


図1 ウェスタンブロッティングによる Lys120 がアセチル化された p53 タンパク質の 10E5 モノクローナル抗体による同定。

試料はHCT116細胞の粗抽出液。左レーンは無処理コントロール。右レーンはTip60と相互作用するタンパク質UHRF1の発現をsiRNAによってノックダウンした細胞。

p53 タンパクの全量を粗抽出液から抗 p53 抗体(DO1)によって免疫沈降させ、抗 p53 抗体 (ウサギ, FL393) (上) 又は抗 p53 Ac-K120 抗体 (10E5) (中) でウェスタンブロッティングした。下のパネルでは粗抽出液中の p53 の全量を、モノクローナル抗体 DO-1 を用いてウェスタンブロッティングで解析した。

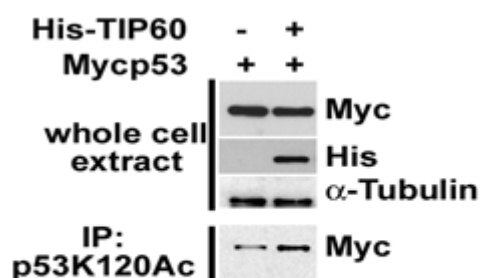


図2. Lys120 が acetyl 化された p53 タンパク質の免疫沈降。

Crude cell extracts were prepared from H129 cells (p53 negative cell line) expressing only Myc-p53 (first lane), and both Myc-p53 and His-Tip60. In the upper panel, the whole cell extracts were immunoblotted with anti-Myc, anti-His-tag or anti- α tubulin antibodies. In the lower panel, the extracts were immuno-precipitated with anti-p53 Ac-K120 antibody

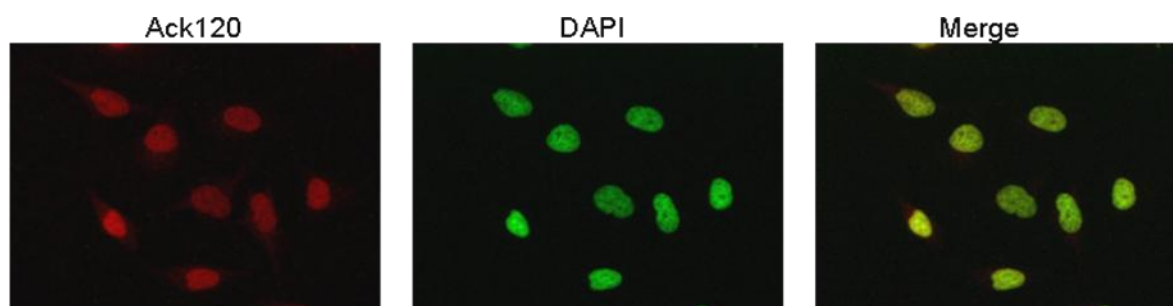


図3. DNA 損傷を受けた HeLa 細胞の核内に存在する Lys120 が acetyl 化された p53 タンパク質の免疫蛍光染色像。

HeLa cells were treated with 100 nM Doxorubicin for 24 hr, fixed with 4% paraformaldehyde overnight, permeabilized with 0.25% Triton X-100 in PBS for 10 min.

The antibody was used at 1/1,000 dilution

Nucleus (DNA) was stained with DAPI